

西中だより

山崎西中学校
通信部
校訓

光る顔(徳育)
光る目(知育)
光る汗(体育)

自分の手で未来への道を

切り拓くために

一年生学年主任

《キャリア教育》

子どもたちが大人になる頃には、生産年齢人口の減少、AIによる技術革新等により社会構造や雇用環境は大きく急速に変化して予測困難な時代になっているといわれています。

こうした社会背景の中だからこそ、子どもたちが学ぶことと自分の将来とのつながりを見直し、社会的・職業的な自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を身につける教育—キャリア教育が今求められています。

このことをふまえて本校でもキャリア教育の取り組みを続けています。

一年生では、授業、行事、特別活動、ドリームマップ授業やものづくり体験活動を通して、聞く力、話す力(伝える力)、続ける力、正しい判断(選択)をする力を身につけるよう進めています。

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの行事が中止となりましたが、一年生のキャリア教育として実施したドリームマップ授業とものづくり体験学習について簡単に紹介します。

《ドリームマップ授業》

特定非営利活動法人『こどものみらいプロジェクト ゆめどり』に講師を依頼し、令和二年十二月三日に実施しました。

ドリームマップとは、生徒の「こうだったらいい

な、こうだったらいいあわせだな、こんなことをしたいな、こんな大人になりたいな」と思うことを写真や雑誌・広告の切り抜きなどや文字で画用紙いっぱい描きます。その描く内容は、未来の自分を自由に想像して、夢を描いたもので「夢への地図」となります。

ドリームマップ授業では、一〜六時間目まで自分自身としっかりと向き合い、今の自分を知り、将来ありたい自分の姿(夢や目的)をはっきりと描き、クラスの友だちに発表しました。そうすることで、その夢を叶えるための行動にやる気が出て、毎日の勉強や練習などに積極的に取り組むたくいという意欲がわきます。今学んでいることと将来とのつながりを見通すことができた貴重な時間になったと思います。

このドリームマップを描く中で、生徒たちは、人と比べなくてもいいこと、正しいと間違いないことがないこと、大きいも小さいもないこと、そして、どんどん新しい夢が増えてもいいことなど多くのことを講師の方から教わることができました。

最初は友だちに自分の夢を発表することに戸惑っていましたが、講師の方々の温かい導きや一人一人の思いを受け止める雰囲気の中で、しっかりと自分自身の夢を発表することができました。いろいろなものや思い・世界が自分とつながっていること、自分の夢をみんなに発表し、知ってもらうことで喜びが何倍にもなることを実感することができました。また作成したドリームマップは持ち帰り、そのコピーと保護者の方の応援メッセージとともにキャリアファイルに保管して、いつでも振り返りができるようにしています。

《ものづくり体験学習》

令和三年一月二十日、新型コロナウイルス感

染拡大防止対策を徹底していただき、姫路市にある兵庫県立ものづくり大学校「ものづくり体験館」を訪問し体験学習事業に参加しました。残念ながら展示学習、閉会式での作品発表会はありませんでしたが、貴重な体験活動ができました。

ものづくり体験では「フードつきバスト」(裁縫)、「エビのニューバーグ風(フランス料理)」(調理)、「音声認識ロボットカー」(電気)、「安心紙コップホルダー」(金工)、「キャンドルスタンド」(金工)の五つのプログラムにわかれ、熟練技能者(ひょうごの匠)やものづくり企業のOBなど(の指導のもと、三時間のものづくりを体験しました。

各プログラムでは、プロの技術を間近で見せていただき、その職業に関する知識や経験、働くことの心構えなどを直接語っていただくことで、より深い学びとなりました。生徒たちは、初めて体験する「ものづくり」に興味津々で、試行錯誤しながらも一人一人真剣に取り組むことができました。自分でものをつくることの楽しさや、大変さを感じたり、匠の技に驚いたり、作り上げたりした時の達成感や満足感を味わうことができました。

ひょうごの匠や熟練技能者の講師の方々から、『まずはものづくりを好きになってほしい。』『ものづくりはすべての人に関係している、ものをつくるを通して、我慢する力がついていく。そして、未来の扉を自分で開けてほしい。今君たちはその扉の前に立っているのだから。』というお話しをしていただきました。また、講師の方々の技術の裏付けには、はかり知れない苦労や努力の積み重ねがあり、困難に立ち向かい、挑戦し続けることの大切さに気づくこともできました。

ものづくり体験学習を通して、人とのつながりや将来どのような仕事に就きたいかという考えを広げることができたように思いま

す。真剣にものづくりに取り組み、さらに成長していくには、見てまねることから、自分で考え、工夫していくことが大切だと学ぶこともできました。

今後これらの経験を生かして、二年生で実施する「トライやる・ウィーク」に向けての準備や指導を進めていきます。自分自身の手で自分の未来の道を切り拓くために、人との関わりを大切にしながら、聞く力、伝える力、続ける力、正しい判断をする力を高められるように、今後も本校のキャリア教育を充実させていきたいと考えています。

今後とも保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【今月の行事予定】

2月2日	SC来校
9日	SC来校
10日	県内私立入試
16日	公立推薦・特色入試
17日	小六入学説明会 (各小学校)
18日	貯金日
19日	体育館補修工事
21日	公立推薦・特色合格発表
24日	期末考査
26日	(三日間)
25日	三年生愛校作業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等により変更になる場合があります。

生徒感想

【ドリームマップ授業】

一年一組

ドリームマップ授業で感じたことは、夢は行動だけじゃないということが分かりました。自分をしっかり知り、それから夢を持ち、それから行動を起こす、ということが分かりました。だから、夢を持ってから行動することの大切さに改めて実感が湧いてきました。

ドリームマップで体験したことを生活にどんどん生かして暮らしていきたいなと思います。本当に良い経験ができて良かったなと思います。このことが、来年につなげられるといいなと思います。



一年一組

私はドリームマップの授業を終えて、自分の夢や自分のやりたいこと、未来の自分はどうな人になりたいかなど、日常ではあまり深く考えないことを知れました。夢を叶えるためには三つのことを順にやらなければならないそうです。一つ目は、自分を知ることです。自分は何が得意で何が苦手なのかを知らなければなりません。二つ目は、夢を知ることです。自分の叶えたい夢はどんなものなのかを考えなければなりません。三つ目は、その夢に向かって行動することです。叶えたい夢がありながら動かなければ何も叶えられません。だから、夢を叶えるために行動しなくてはいいけません。この三つをやれば、必ず夢が叶うと思うので、夢を最後まであきらめずに頑張りたいです。

一年二組



ドリームマップをつくってみて僕は、写真などで自分の夢を表現することが楽しかったです。最初はどこに何をどうやって、貼ろうか迷って全然進まなかったけれど、どんどんやっていくうちに進むようになって楽しさもとても大きくなりました。最初につくったドリームマップを発表すると言われて、少し嫌だなと思っていただけで、ドリームマップを作ると嫌な気持ちになくなりました。

発表するとき、発表する前は緊張していたけれど、いざ発表するときになると、緊張がなくなってきたので良かったです。将来の夢は、いつか変わってしまうかもしれないけれど、今持っている夢には全力で頑張るつもりで目指し、また変わったときには、その変わった夢に向かって全力で目指していきたいです。

一年二組

最後にドリームマップを通じて、今自分が本当に目指している夢が分かったので、それに向かって頑張りたいです。

ドリームマップ授業をする前は、素材が足りるかとか、ちゃんと発表できるかどうかとかも不安だったし、どんな人が講師としてきてくださるのかも分からなくて、不安だらけでした。でも、講師として来てくださったよーこさんとあこさんがドリームマップに関することを優しく教えてくださったおかげで、将来の自分と楽しく向き合えたので良かったです。

今まで考えてなかったことも考えられました。今日、ドリームマップをして、少しだけ夢に近づいた気がしました。まだまだ空いているところがあるから、これから少しずつ付け加えていって、これからも少しずつ夢に近づいていきたいです。

【おのびのびの体験学習】

一年一組

僕はフード付きベストを作りました。アイロンを使ったり、ミシンを使ったりと、たくさん作業がありました。家庭科はあまり得意なほうではなく、すべての作業がとても難しかったです。でも、だんだんと慣れていき、コツもつかめると上手にできるようになってきて嬉しかったです。講師の先生は、僕がミスをしてもすぐにミスをする前の状態に戻してくれたり、細かいアドバイスを分かりやすくしてくれたりして、とても作業がやりやすかったです。またいつか服を作ってみて、誰かの役に立てることができたら良いなと思います。

今回のものづくり体験を通して、講師の先生がとても分かりやすく教えてくださったことを思い出しながら、僕も後輩ができたときに分かりやすくいろいろなことを教えていきたいと思いました。

一年一組

私はキャンドルスタンドを作る活動に参加しました。ハンマーやラジオペンチ、弓ノコなどを使い作業をしました。初めは、火花が飛びぶよぶよな作業をするしかないのでかと思いましたが、その他にもいろいろな作業があって楽しかったです。作業の中では、曲げる作業で納得できる感じに曲げることがとても難しかったです。曲がった針金をまっすぐにする作業や、針金の重心の位置をすぐに当てる講師の技にはとてもビックリしました。



今回の体験を通して、ものづくりが好きになりました。その楽しさを周りの人に伝えて、周りの人も、ものづくりの楽しさを知ってほしいと思います。体験を生かして、将来の仕事を考えていけたらいいと思います。

一年二組



私は、安心紙コップホルダーを作りました。直刃や、やなぎ刃、ハンマー、やすりなどの道具を使い、けがきやはせぐみ、円とう曲げなどを行いました。半分以上の道具は、初めて使うものだったので楽しかったけれど、細かい作業もあり難しかったです。私が少し失敗しても、講師の先生がとてもきれいに直してくださり、やっぱりすごいなと思いました。作業しながら、問題なども出してくださったので楽しく取り組むことができました。真剣に何かに取り組むということが楽しいことだと知れたので、これからはどんなことにも真剣に取り組みたいです。人に何かを教える仕事もいいなと思ったので、将来に役立てていきたいです。

一年二組

僕は、海老のニューバーグを作るグループでした。作業は、海老の背わたをとって皮をむき、マッシュポテトを作るときにデンプンをとって、かきまぜるなどです。玉ねぎやじゃがいもを切るくらいは簡単だろうと思いましたが、やってみると想像以上に難しかったです。

講師の先生が、フライパンにブランデーを入れたときに、炎が出ていて凄かったです。ソースのかけ方では、見栄えを考えきれいにできていて凄いなと思いました。講師のみなさんは優しく丁寧に教えてくださりました。今回のものづくり体験を通して学んだことを活かして、これからお母さんが疲れていたら、夕飯を作ったりお皿を洗ったりして、家でも手伝いをしてお母さんを助けたいと思います。



私は、海老のニューバーグを作るグループでした。作業は、海老の背わたをとって皮をむき、マッシュポテトを作るときにデンプンをとって、かきまぜるなどです。玉ねぎやじゃがいもを切るくらいは簡単だろうと思いましたが、やってみると想像以上に難しかったです。